

はむらの学校教育 — 全ての子供のよさと可能性を引き出し、伸ばす —

<羽村第一中学校区 小中一貫教育>

よく考え進んで学ぶ 認め合い助け合い広く思いやる 自ら鍛え丈夫な体を作る

1 学校教育目標

誰一人取り残さず、すべての児童が将来への希望をもって、自ら伸び、育つ教育を推進し、羽村市教育委員会の教育目標を実現するために「**地域と共に・主体的に学ぶ子供が育つ学校**～自分の考えをもち、豊かに表現できる子～」の育成を目指す。 ◎よく考える子 ○思いやりのある子 ○げんきな子

2 学校経営の基本理念

- (1) 合言葉は「**すべては子供のために**」「**どの子もみんな自分の子 共に育てよう小作の子**」
- (2) 子供たちが予測不可能な時代でも「**たくましく、より良く生きる力**」を身に付けられるよう【笑顔】【探求】【自信】をキーワードに、皆で協働していく。
- (3) たゆまず あせらず おこたらず～目標、計画、努力～…**凡事徹底・あじみこし・粘り強く**

3 学校教育目標に照らし合わせた目指す学校像、児童像、基本方針

	◎よく考える子	○思いやりのある子	○げんきな子
学校像	子供一人一人がよさや強みを伸ばし、学びに真剣になれる学校	児童の安心と安全が守られる学校 保護者や地域が笑顔になる学校	「頑張った・やり切った」といえる学校 (自分や友達、学校を誇れる学校)
児童像	基礎・基本を土台に主体的に学び、対話を通して自ら力を伸ばす子	人権感覚をもち、自他を大切にする子	知・徳・体にわたって「より良く生きる」力をもった子
	探求	笑顔	自信
基本方針	<p>○<b>言葉の力</b>を中核にした学校づくり</p> <p>○基礎的・基本的内容の指導の充実・<b>子供が主体的に学習に取り組める授業</b>づくり。</p> <p>○一人一台端末の効果的な活用 →「はむらの学校教育」を踏まえ個別最適な学び、協働的な学びの推進と個に応じた指導・支援、自立した学習者の育成</p> <p>○特別支援教育の充実→<b>子供のよさや強みに着目した指導・声掛け</b></p>	<p>○<b>人権教育の推進</b> →地域や自然との関わりの中で良さや違いを認め合う。道徳教育を中心としたはむらの道徳科授業指針の活用、特色ある教育活動の推進。</p> <p>○<b>家庭と協力・連携した習慣付け</b> →望ましい習慣(<b>あじみこし</b>・学年×10分の家庭学習)を身に付けさせる。</p> <p>○児童の健全育成→<b>児童理解に基づく指導</b>を徹底。生活指導(<b>あじみこし</b>)、いじめ、不登校対策等の組織・体制づくり。体力向上。粘り強い取組。 →<b>安心と安全を感じる学校(心的安全性の確保・居場所づくり)</b></p> <p>○幼保小連携・小中一貫教育の推進</p>	<p>○<b>自尊感情</b>の醸成 自己効力感「<b>やればできる</b>」 自己成長感「<b>伸びている</b>」 自己有用感「<b>役立っている</b>」</p> <p>○<b>学校・保護者・地域が協働した</b>学校運営→CS委員会での学校支援ボランティアの充実</p> <p>○アクティブタイムの<b>外遊び奨励</b></p>

4 目指す教師像…「**率先垂範**」で取り組む。

	【探求】…児童が主体的に学べるよう、授業の質を高める教職員	【笑顔】…相手意識をもち、信頼関係を築き笑顔で対応できる教職員	【自信】…協働し、自信をもってチームに貢献・業務改善する教職員
取組	一人一台端末の効果的な活用、授業力向上、自立した学習者の育成等を図る。	児童・保護者の心情に寄り添う指導をし、教育公務員としての服務規律を遵守、 <b>信頼される教育者</b> 。	学校内の職員間、コミュニティ・スクールや外部諸機関とも <b>連携</b> をとり、 <b>協働</b> しながら指導の充実等を図る。

5 具体的な取組(●は重点項目、自己申告書にそれぞれ1つ以上記入。)	
学習指導	<p>●「はむらの授業指針」に基づき「主体的・対話的で深い学び」を意識した質の高い授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発達段階に合わせた指導(一人一人が分かる、楽しい、できた喜びを感じる、工夫のある授業)</li> <li>・毎時間の「授業の流れ」の視覚化、ノート指導の充実、年間指導計画・単元配当表を活用した確実な実施</li> <li>・「めあて」と「振り返り」の記載の指導を徹底し、児童の自己評価力を向上させる。</li> <li>・特に、理数教育(生活科・理科・算数科)、国語科で、教具・指導等を工夫し、学習意欲の向上を図る。</li> </ul> <p>●一人一台端末・ICT を効果的に活用した授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉・個別・協働学習等で、ICT 等を効果的に活用し、個別最適な学び・協働的な学びを充実させる。</li> </ul> <p>●主体的な読書活動(朝読書を含む)と読解力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が主体的に読書活動に取り組める環境づくりや、学校図書館の活用を各教科・総合的な学習の時間で行い、児童の言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を向上させる。</li> </ul> <p>●「はむらの道徳科授業指針」に基づいた「考える道徳」「論議する(話し合う)道徳」の授業の実践、道徳教育の充実(思いやり)を図り、自己理解・他者理解を通して自他を思いやる心の教育を推進する。</p> <p>○「やればできる。のびている。役に立っている。」と児童が実感できる指導</p> <p>○ICT を活用したドリル学習、計算タイム、家庭学習(宿題:学年×10分)の充実・記録簿の活用、客観的な資料の結果を生かした指導を行い、「やればできる」と感じる、個に応じた指導の充実や基礎学力の定着。</p>
生活指導	<p>●凡事徹底(あ・じ・み・こ・しの徹底)、授業規律や生活規律を意図的・計画的に指導する。家庭との連携も図りながら、指導を徹底する。</p> <p>●規範意識を育成する場を確保し、より良く生きるための基盤となる道徳性を養い、人権教育を推進する。</p> <p>●きれいな学校、落ち着いた生活環境づくりのための指導(靴の揃え方、整理整頓、清掃活動等)と、当番活動に主体的に取り組む児童の育成(認め、ほめ、主体性を育成する)</p> <p>●いじめ防止対策(状況報告・アンケート・授業や講話・SC 面接等)や不登校対策(居場所・絆づくり、関係機関との連携、欠席児童への対応)を行い、児童に寄り添った指導を行う。</p> <p>●特別支援教育の充実。児童の強み・よさを伸ばす指導。特別支援教室との指導連携を図る。</p> <p>●環境のUD化(ユニバーサルデザイン化)を図り、全ての子供が楽しく「分かる・できる」取り組みやすい環境・授業づくり。</p> <p>○「心理的安全性」を感じる学級風土を醸成する。○安全に過ごすために指導(登下校、校舎内外など)</p> <p>○校内委員会、おわりの会、いじめ対策委員会での情報共有と組織的な対応、多面的な児童理解を生かした指導、関係諸機関との積極的な連携と活用。○外遊びの奨励、運動の日常化を図る取組</p>
学校運営	<p>●学年団での運営強化(交換授業による教科担任制・副担任制)を実施し、授業力等の向上、負担感の軽減を図る。</p> <p>●教職員のライフ・ワークバランス推進のため、校務の効率化(校務DX、教育DX、ICTの効果的な活用の推進)を図る。→児童と向き合う時間、教材研究等の時間を確保する。</p> <p>●チーム小作台として、主幹や担当主任が中心となって、組織的な運営を行う。</p> <p>○計画的な「休暇」を各学期1日以上取得、毎週水曜日を定時退勤日とし、働き方改革を推進。</p> <p>○OJTの推進 ○校内研究の推進</p>
特活他	<p>●豊かな体験と学びの充実を図る。(理数教育、学校農園、キャリア教育、羽村学、人間学等)</p> <p>●小学校6年間で育てる見通しをもって児童の資質・能力を育成する。</p> <p>●特別活動や総合的な学習の時間等での児童の学びを充実させる。(持続可能を意識)</p> <p>●毎週金曜日発行の学級通信や、ホームページで、児童の頑張りやよさ等を情報発信。</p> <p>○コミュニティ・スクール委員会や、保護者・地域ボランティアとの連携</p> <p>○学校農園を活用し環境教育、食育を行い、日常の教育活動の中でも児童にSDGsを意識させる。</p>
能力開発	<p>●校内研、OJT、市教研、校外での研修会に主体的に参加・全員への還元(情報の共有等)</p> <p>○ICT 機器、PC 等の使用技術の向上等(教職員全員がICTを文房具として使用)</p> <p>○東京都教職員研修センター主催の専門性向上研修への参加と研修内容の還元等</p>